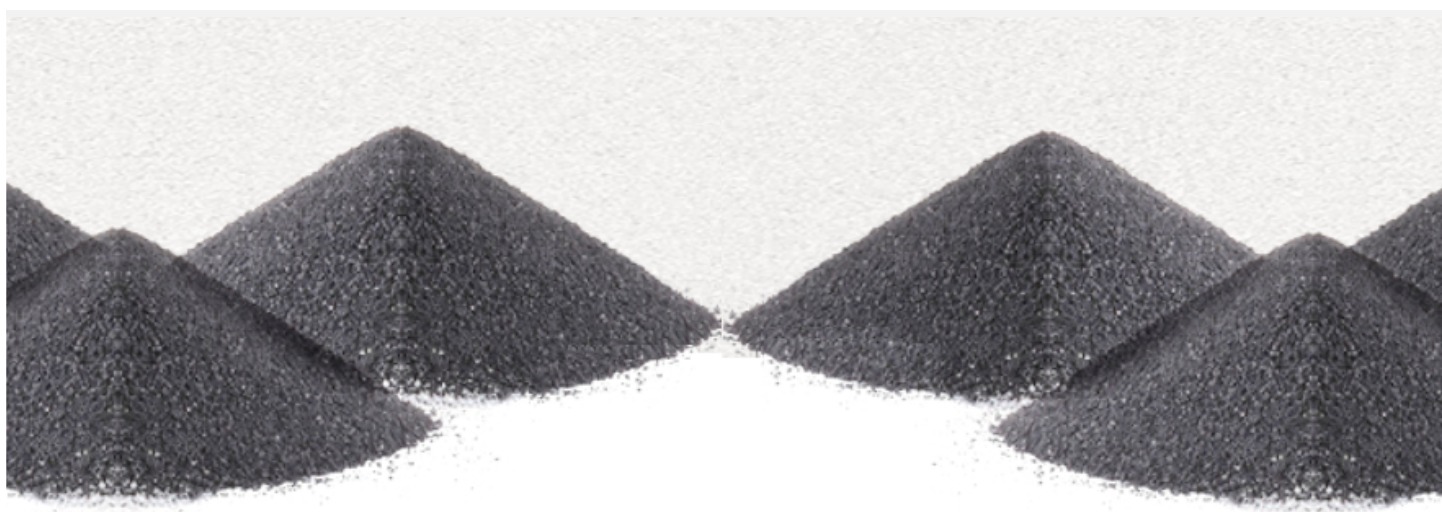


カツパースラグ

銅精錬の際に発生するスラグ(滓)を整粒した
ものです。珪砂に比べ比重が大きい
ため衝撃力があり重研削用に
適しています。

サンドブラスト材 開発・製造



株式会社 新生産業 SHINSEI SANGYO CO.,LTD.



カッパースラグについて

ブラスト作業時の粉塵の発生が小さく、作業環境の大幅な向上にも貢献しています。

新モース6.5～7.0と極めて硬質でかつ、精度が均一なカッパースラグは、サンドラスト用研磨材として高い評価を得ています。船舶の研磨や補修錆落としにはもちろん、種貯蔵タンクの塗装下地処理から橋梁等の構造物の下地処理にいたるまで、幅広く活用されています。天然の砂よりはるかに硬質で、むしろ石英に近い硬度をもつ「カッパースラグ」は、ブラスト作業時の粉塵の発生が小さく、作業環境の大幅な向上にも貢献しています。

■カッパースラグの主な用途

船舶塗装下地処理

船舶補修錆落とし材

橋梁下処理

メタリコン下処理

貯蔵タンク塗装下地処理

鋼材下地処理

■カッパースラグの特長

- (1) ブラスト処理用非金属系研削材 JIS0312:2004規定 銅スラグに適合している。
- (2) 常時鋭角を呈し、再使用が可能である。
- (3) 比重が高く切削性が良い。
- (4) 壊れ難く作業性に優れる。
- (5) 有害物質検査の結果、検出限界値をクリアーし、安心して使用できる。

■化学的特性

カッパースラグは、鉄(Fe)、シリカ(SiO₂)を主成分としており、その他に微量のアルミナ(Al₂O₃)、石灰(CaO)、マグネシウム(MgO)などを含有しています。また、CaOやMgOは珪酸と結びついており、単独で存在することはありません。水和作用により団結、膨張による粒子の崩壊などの心配がない化学的に安定したガラス状の粒子です。塩分はほとんど含まず、しかもアルカリ骨材反応がないためセメント鉄源やコンクリート骨材など幅広い用途に利用することができます。

■化学組成

FeO	SiO ₂	Al ₂ O ₃	CaO	MgO
37～51%	35～40%	3.0～4.5%	1.0～5.0%	0.5～1.5%

■物理的性質

品名	硬度	崇比重	遊離けい酸	水可溶性塩分
カッパースラグ	6以上	1.8	1%以下	0.00003%

■物理的特性

カッパースラグは、モース硬度6～7の硬質で鋭角的なガラス状粒子で、内部摩擦角が大きいのが特徴です。透水係数は天然砂より大きく、また粒度は極めて安定しています。